学校番号	T0110

平成 31 年度　商業科

教科	商業	科目	簿記	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「はじめての簿記」　（ネットスクール株式会社）						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

個人企業における取引を通じて簿記の基礎を学習します。
休まず、積極的に学習活動に参加してください。

2　学習の到達目標

①個人商店における一般的な取引の仕訳を身につける。
②習得した技法を通し、簡単な財務諸表に関する知識と技術を習得する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・個人企業における簿記に関心を持ち、その知識と技術の修得をめざして意欲的に取り組むとともに、企業において日常発生する取引について適正な会計処理を行う実践的な態度を身につけている。	・いろいろな処理法や記帳法について、なぜ、そのように行うのかなど自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫をする能力を身につけている。また、適正な会計処理を行う能力を適切に表現できる。	・個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、いろいろな場面において適正な会計処理を行う。	・個人企業における簿記に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、簿記の基本的な仕組みについて理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・定期考査 ・出席状況	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・定期考査	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・定期考査	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	身のまわりの簿記　仕訳と転記　決算の手続き①	■簿記の自己紹介 ■貸借対照表と損益計算書 ■仕訳ってなに？ ■勘定と口座への集計 ■決算とは ■貸借対照表と損益計算書の作成	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:簿記の意味・目的・歴史などの簿記の基礎的内容や資産・負債・純資産・収益・費用の意味及び貸借・損益の作成、さらに簿記一巡の手続きに関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。 b:なぜ、簿記をつけるのか、なぜ、勘定を設けるのか、貸借が平均するのはなぜか、資本の増減を収益と費用に分けて記録するのはどうしてかなどについて、考える。 c:貸借対照表や損益計算書などの作成に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d:簿記の意味・目的・歴史や5要素の意味および貸借対照表・損益計算書の作成、さらに簿記一巡の手続きに関する基礎的・基本的な知識を身につけ、内容を理解している。	・授業観察 ・プリント ・定期考査
	現金と当座預金①②　商品売買	■現金　当座預金 ■現金過不足　当座借越　小口現金 ■三分法 ■掛取引 ■返品と値引き ■商品売買の諸費用 ■各補助簿	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳はどのように行うのかについて関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。理解できない内容については、自分で調べたり、積極的に質問したりする。 b:なぜ、このように仕訳するのか、なぜ補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて考えている。 c:商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d:商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につつけている。	・授業観察 ・プリント ・定期考査

後期	手形① 有価証券・固定資産	■約束手形 ■為替手形 ■手形の割引き　裏書譲渡　手形記入帳 ■有価証券 ■固定資産	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳はどのように行うのかについて関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。理解できない内容については、自分で調べたり、積極的に質問したりする。 b:なぜ、このように仕訳するのか、なぜ補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて考えている。 c:商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d:商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につつけている。	・授業観察 ・プリント ・定期考査
	その他の債権債務	■手形貸付金　借入金 ■未収金と未払金 ■前払金と前受金 ■仮払金と仮受金 ■立替金と預り金 ■商品券と他店商品券 ■引出金と税金	 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:個人企業におけるさまざまな取引の記帳はどのように行うのかについて関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。理解できない内容については、自分で調べたり、積極的に質問したりする。 b:なぜ、このように仕訳するのかなどについて考えている。 c:個人企業におけるさまざまな取引の仕訳など、取引に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。 d:個人企業におけるさまざまな取引の構造を理解し、取引に関する基礎的・基本的な知識を身につつけている。	・授業観察 ・プリント ・定期考査

	決算の手続き②　精算表・財務諸表	■決算整理記入 ■売上原価の計算 ■貸倒れの見積もり ■消耗品の処理 ■精算表 ■損益計算書と貸借対照表	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:決算整理を伴う決算手続きは、どのように行うのかについて関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。また、作成した財務諸表を見て企業の状況を把握しようとする。 b:なぜ、このように決算整理を行うのか、なぜこのように整理仕訳を行うのかなどについて考えている、また、財務諸表を活用して企業の状況について判断している。 c:決算整理を伴う決算を行うための基礎的・基本的な技術を身につけている。 d:決算手続きの意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、財務諸表の作成に関する基礎的・基本的な知識を有し、財務諸表の役割を理解している。	・授業観察 ・プリント ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。